

○発行日：令和5年7月21日(金)
 ○発行：東京都合気道連盟
 〒162-0056
 東京都新宿区若松町17番18号
 (公財)合気会内
 電話：03-6457-3315
 F A X：03-6457-3317
 e-mail：info@tokyo-aikido.com
 https://www.tokyo-aikido.com/
 発行人：藤城 清次郎
 編集責任者：美濃部 智子

道 氣 合

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



令和5年度東京都合気道錬成大会 開会式



令和4年度少年部指導法講習会



第39回評議員会

理事長挨拶	2
第39回東京都合気道連盟評議員会開催	2
令和4年度少年部指導法講習会	3
令和4年度東京都地域社会合気道指導者研修会	4
令和5年度東京都合気道錬成大会	5
第60回全日本合気道演武大会に出場して	6
生涯スポーツ功労者表彰を受けて	7
生涯スポーツ優良団体表彰を受けて	7
新規加盟団体紹介	8～9
荒川合気会創立60周年	10
後援大会等(中央区合気会・江東区合気道連盟)	10
第39回評議員会資料	11
主要行事予定	12
編集後記	12

ご挨拶



東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎

日頃、皆様には東京都合気道連盟の活動に、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の第三十八回評議員会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い評議員、役員のみで参加でした。今年はコロナ感染症が2類相当から5類感染症に変更され感染対策は個人・事業者の判断に委ねられることになりました。これに従い東京都合気道連盟では四年ぶりに通常の形で第三十九回評議員会を開催することが出来ました。続く情報交換会には評議員に加えオブザーバーの皆様を含め六十九名の皆様にご参加頂き盛大に開催されました。そこかしこで明るく談笑する様子が見受けられ、久々に対面でのコミュニケーションの素晴らしさを実感した次第です。

会議は、昨年度の事業報告案、決算案、監査報告本年度の事業計画案、予算案を全てご承認頂き新年度がスタート致しました。

去る、五月二十七日(土)には全日本演武大会も通常の形態で盛大に開催され、六月十八日(日)には本部道場指導部伊藤 眞師範をお迎えし、都連主催の錬成大会も役員を含め八十五名に参加頂き盛大に開催出来ました。大変有り難く感謝申し上げます。

さて、昨年の評議員会で役員選任について述べさせて頂きましたが、昨年七月に役員選任検討委員会を発足しました。次期役員改選時に向けて、選任方法についての提言を理事会に頂戴しました。次回評議員会に選出方法につき最終のご提案をする予定です。

又、今評議員会でもお話し致しましたが、令和七年度は東京都合気道連盟創立四十年の年に当たります。先の第三十八回理事会で「東京都合気道連盟創立四十周年準備委員会」を立ち上げました。これから事業をどのように挙行するかを、皆様の協力を得て進めていきたいと思います。

この先七月三十日(日)には都連主催の「初心者指導法講習会」、十一月二十三日(木・祝)には四年ぶりの「東京都合気道演武大会」が予定されています。既に実施に向けて加盟団体の皆様には種々参加に向けてのご意向を伺い着々と準備をしております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。文末にあたり皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げますと共に、更なるご指導ご支援を賜りたく存じます。

第三十九回 東京都合気道連盟評議員会開催

令和五年四月二十二日(土)千代田区一ツ橋・日本教育会館に於いて、第三十九回東京都合気道連盟評議員会が開催された。今回は新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、出席者のマスク着用は任意とされた。会議は十五時から加盟団体評議員五十二名、委任状百五十五名、合計百五十七名をもって開催となった。また顧問である全日本合気道連盟尾崎响理事長、小林正明相談役ならびに高城寛子参与も出席した。

評議員会が開始され、大田勤副理事長が開会の辞を述べ、藤城清次郎理事長が挨拶を行った後、議長となり議事に入った。

始めに「令和四年度事業報告(案)」が小柳俊一郎副理事長から報告された。続いて鈴木俊雄副理事長から「令和四年度収支決算報告(案)」、堀越祐嗣監事、梶浦真監事から「監査報告」があり、出席の評議員に承認された。続

いて「令和五年度事業計画(案)」が木下悦子副理事長から、「令和五年度収支予算計画(案)」が鈴木俊雄副理事長よりそれぞれ説明され、こちらも出席の評議員に承認された。

その他の議題として、神谷正一副理事長から東京都合気道連盟役員候補者の今後の取り扱いについて(案)の説明が行われた。これは昨年四月九日(土)に行われた第三十八回東京都合気道連盟評議員会での役員選任に関する意見交換を踏まえ、都連役員選任検討委員会で検討を進めてきたもので、都連役員選任検討委員会委員長である大橋健司理事から役員選任要領の検討の経緯、役員の選考に関する基本的な考え方、役員改選の想定スケジュールについての説明がなされた。

評議員会は午後四時十分に終了した。その後、別室で情報交換会が開催された。(記・梶浦)



令和四年度 少年部指導法講習会報告

令和五年二月二十六日(日)十三時～十五時、港区スポーツセンター武道場にて「令和四年度少年部指導法講習会」を開催致しました。

始めに東京都合気道連盟大田勤副理事長の司会により開会式が行われました。

主催者代表として東京都合気道連盟藤城清次郎理事長が開会の挨拶を行い、今回ご協力を頂いた(一財)港区体育協会と港区合気道連盟に感謝の言葉を述べました。主賓である港区合気道連盟 関根史郎会長の



ご紹介の後、今回の講師である小山雄二本部道場指導部師範よりお言葉を頂きました。講習会参加者は四十六名、役員は十名参加致しました。

今回の講習会は実技の時間よりも、事前に参加者よりアンケートとしていた内容と当日に追加された参加者からの質問について回答する事に重点を置いた内容でした。

小山師範からは「今回講師としてここにあります。逆に皆さんから意見を頂いて勉強したいと考えています。各道場で行われている指導法や工夫を持ち寄り、本部道場がそれらを集めて、合気道界全体として共有できれば良いと思います」とお言葉を頂きました。参加者は、始めは遠慮していましたが、講習会が進むにつれて「コロナの影響で掛け声を出さない習慣になってしまっているが、今後はどのように対応していった方が良いか」「稽古回数によりレベル差がついているなかで学年なども考慮しながら審査を行う場合はどうしたら良いか」など具体的な質問が多く出ました。

その一つ一つの質問に対して非常に真摯に、そして丁寧に小山師範は回答して下さいました。どのご回答も経験に裏打ちされていて、具体的なものばかりでしたので、皆、非常に参考になりました。また現在の国際合気道連盟でのユースへの取り組みなども紹介されました。

最後に閉会式を行い「令和四年度少年部指導法講習会」は無事に終了致しました。

(記・大橋)

参加者感想

多摩川合気道会 鈴木 恵以子

今回参加の三名は、それぞれ子供と一緒に合気道を始めたのですが、気がつけば自分自身が合気道に入らって稽古を続け、肝心の子供は減



多に来なくなっ
てしまいました。
私たちは日々、可愛い道場の子供達に、どうしたら合気道をもっと好きになつてもらえるかと悩んでいました。たくさんの方の参加者も子供たちの指導に悩みを持っ

さま、大変感謝しております。ありがとうございます。
おあしす合気会 椎名 由紀子
おあしす合気会からも指導者、指導アシスタント六名出席させていただきました。当日の少年指導法講習会は、合気道を楽しむ、飽きさせない方法や、指導の仕方などを各道場から来た指導者達と共有したいという小山先生の言葉がありました。やはり子ども達が一時間合気道を稽古する上で、飽きたり集中力が欠けますと、怪我のリスクがたしかに高まります、十五年前、私は自分の恩師であつた加藤 弘師範に合気道は楽しく、合気道の友達を作りなさいと言われました。怪我をしただけ、楽しくないし、友達といるところではなくなります。まずは安全性を高める稽古でありたいと子ども達と常に向き合ってきました。



東京都合気道連盟で令和元年より少年部指導法講習会を開催していただける事により、自分達の会の指導法と本部や各道場の方の指導法を照らし合わせ、取り入れる機会を作ってくださった事に感謝しております。私達の会には共有する為に講習会は、都合よく限り出席しようとお互い声がけしています。次世代の子ども達により良い環境で楽しく合気道を知ってもらう事を第一に考えて、これからも合気道に携わりたいと思います。

令和四年度 東京都地域社会合気道指導者研修会報告

令和五年三月四日～五日(土・日)東京都地域社会合気道指導者研修会が東京武道館で開催されました。中央講師として

(公財)合気会合気道本部道場指導部の大澤勇人師範、有馬隼人指導員が実技指導を担当し、地元講師として藤城清次郎、東京都合気道連盟理事長、木下悦子、東京都合気道連盟副理事長が講義、講習を担当しました。

開会式では、村上修史、東京武道館館長、中央講師 大澤勇人師範、藤城清次郎、東京都合気道連盟理事長のご挨拶をいただきました。

一日目午前、大澤勇人師範、有馬隼人指導員の実技指導がありました。内容は指導法の着眼点、段階を踏んで技の一つ一つの指導、受けと取りの最初の雰囲気と次の技への移る時の大



切さ、受けが攻める時、取りが攻める時、声をかけながら稽古する、など多くの学びがあり、今後の稽古および指導に活かすことができるの多くの感想をいただきました。

午後は二班に分かれ、「講義A・スポーツにおける怪我と病氣と救命救急」の講習と「講義B・女性指導者の普及について」の討議を行いました。講義Aは、足立消防署からお二人の署員にお越し頂き、人体模型を使用し人工呼吸法や胸骨圧迫の方法体験、また実際にAEDを用いて使用手順と救命救急の一連の流れを学びました。講義Bは、少人数に分かれ都連としては初めての討議形式をと



り、活発な発言をいただきました。他道場の状況がわかり、交流もできたとの感想をいただきました。今回のご意見・アイデアは今後の活動に生かし更なる合気道の発展につなげていくべきでしょう。最後のグループ別の発表では、グループリーダーのプレゼンテーションが大変上手で時間が足りず、残念でした。二日目は午前、午後とも大澤勇人師範、有馬隼人指導員の緊張感溢れる実技指導が行われました。

閉会式では、参加者へ修了証が授与され、二日間の講習が終了しました。(記・木下)

令和四年度 東京都地域社会合気道指導者研修会の感想

中野区合気道会 塚本 貴恵

従来の研修会は、合気道の技の基本とその技をいかに指導するかに重点が置かれ、参加者は講師の指導(実技・講習)を一方的に受けるものであったが、今回は一日目のグループごとに分かれ、一つの課題について話し合い、発表する参加型の新たな試みが印象深い。

課題「女性指導者の普及」の意外性、それ以上に他道場の人と話し合う機会が今までなかったからである。同じグループのいろんな人のいろんな道場の合気道事情にみな真剣に耳を傾け、ある時は驚き、ある時は笑い、和気あいあいとし話し合いながら、課題解決のヒントを書き留め、発表まで進めることができた。この話し合いから、問題は一人で抱えるものではなく、みんなで共有し解決するものという意識も芽生えた。

今回の研修を通して「女性指導者の普及」には、まだまだ問題は残されているが、一番大切なことは「意識の問題」と自分は感じた。性別関係なく、資格者が指導者の自覚を持ち、経験を重ね指導者になる空気を合気道に携わるみんなで作っていくことが、これからの時代に必要なことではないだろうか。



座学の救急救命法では、救急救命士による講義と心肺蘇生法の指導がありました。AEDを女性に使う場合の配慮など実践的な措置方法も教えていただきました。ワークショップでは、女性指導者の育成についての議論が行われました。五名程のグループに分かれ、女性会員の稽古参加や女性指導者の育成における利点や課題など、参加者が真摯に考え、率直な意見を出しあいました。

葛飾合気会 野口 芙美子

実技では、転換法を中心に捌きを稽古し

た後、その捌きを使った技を稽古しました。留意しないといついつい流してしまう捌きですが、意識化することで精緻な技の習得につながり、所属道場での稽古でも積極的に取り入れたと思います。二日目の実技の終わりには、大沢師範から指導への思いを伺う貴重な機会に恵まれました。指導法に違いがある本部の先生方も、その探求の先に翁先生がいらつしやること、合気道は一つということ

研修二日目、道場の板の問いっぱいにグループ討議で使った模造紙が並べられていたのを見て、心が躍りました。講習会参加者がワイワイ言いながら、さらに意見を交わしあっていました。女性の稽古参加や指導者育成は、国際的にも議論をされており、このように参加型で議論できたのは、非常に意義があったのではないのでしょうか。

今後ともぜひ継続していただきたいと思います。

令和五年度 東京都合気道錬成大会

令和五年六月十八日(日)東京都合気道連盟主催の合気道錬成大会が東京武道館第一武道場で、伊藤眞本部道場指導部師範を講師にお迎えして開催された。随行は里館潤本部道場指導部指導員だった。

東京都合気道連盟加盟の二十三団体・七十一名の参加があり、伊藤眞師範の丁寧でわかりやすいご指導の中、道場は参加者の熱気につつまれた。

冒頭の藤城理事長の開会挨拶で、「新型コ



ロナも2類から5類になり稽古環境は以前の状態に戻りつつあるが、まだまだ油断はできない」と注意を促した。その後、伊藤師範と里館指導員の紹介があり、講習会に進んだ。

今回の講習は「自分が安定し、相手を安定していい状況にする」というテーマのもと片手取り転換から始まり、呼吸法、入り身

投げ、交差取り一教、四方投げへと展開して指導が行われた。「顔をあまり動かさず視点は相手を導く方向をみる」との大切さをご教示くださった。続いて、胸取りからの変化技、後ろ両肩取り、小手返しへと進んだ。肩を自由に動かし技につなげていくよう説明された。

最後に、「自分が安定した中で、どのようにして相手を導いて



いくか、また技が上手いかない時は、考えて技を試してみることを助言された。

参加者も皆、師範の捌きを見逃さないよう真剣な眼差しで受講し、二時間近い錬成大会もあつという間に終了し、非常に密度の濃い大会となった。

改めて、伊藤師範と里館指導員に感謝申し上げます。(記・中島)

参加者感想

合気道臥龍会 井上 慶太郎

令和五年度東京都合気道錬成大会に参加させていただきました「合気道臥龍会」の井上慶太郎です。今回の錬成大会で学べたこと・感じたことを、簡単に記します。

まず講師の伊藤眞師範の技を拝見させていただいて感じたことは、「自分の習っている合気道との違いが、分かり易かった」ことでした。入身投げの手捌きや、小手返し投げの際の相手を投げる方向など、ネットで見える動画だけでは知り得ない技の相違点や特徴を学

ぶことができました。

また伊藤師範のご指導から、技ごとの注意点を教えていただき、自分の習っている合気道との相違を比較するのにとても有益な情報となりました。このことから実際に目と体で、技を感じることで得られる情報の多さに気付くことができました。

そして自分の学んでいる合気道との違いを探すと同時に、合気道での体術に共通する重要点を見付けることができました。

「姿勢正しく、自分の安定した体位の模索」、「無駄なく半身を意識した体捌き」、「投げの際の軸と回転」など、合気道において共通した基礎を改めて認識させられました。

このように、錬成大会では普段体感することのできない実感を通じた交流が、多くの学びを与えてくれることが判りました。

相違点と共通点を見付けることが、自分の技の見直しと向上への良い機会になると思われま



合気道を始めて、約一年。若輩者の私ですが、この大会が新鮮な学びの機会になったことを大きく実感できました。

ありがとうございました。

第60回 全日本合気道演武大会に出場して

春風合気道会

代表 伊師 将登

まず初めに、第六十回という記念すべき大会に東京都の代表として演武の機会を与えてくださり、藤城理事長をはじめ 都連役員の皆様ありがとうございました。

コロナがほぼ収束し制限等がなく、全員参加での大きな演武大会に出られました事、心より感謝いたします。

私自身の道場、春風合気道会にとっても初めての演武大会参加となりました。

会員達はみな緊張の中でも楽しく演武が出来たと思っております。

小学四年生で多田塾・月窓寺道場入門し合気道の魅力に惹きつけられ、今日まで本部道場で稽古を重ね、自分の会を持つようになった私にとって、全日本合気道演武大会は一つの目標でもありました。

演武直前、色々な気持ちで内心表れては消えましたが、何

第60回 全日本合気道演武

日時: 令和5年5月27日(土) 開場: 午前11時

主催: 公益財団法人 合気会 後援: スポーツ庁・東京都・NHK・公益財団法人 日本武道館・日刊スポーツ新聞社



よりこの日まで関わって下さった先生方、先輩方、道友の皆様への感謝の気持ちが大きかったです。関わりを持って下さった全ての皆様に心より御礼申し上げます。

「ありがとうございます！！」

新型コロナウイルスという思いもよらぬ流行り病により、国内はもとより、世界中で人々が行動を制限され、出口が見えず世の中が鬱々とした時期もありましたが、今年、志を同じにした多くの合気道の仲間が集い、そして自分その中に存在出来た事が嬉しく、そして勇気をもらいました。

私にとって良い時も悪い時も合気道は私と共にありました。そして様々なことを今でも学ばせて頂いております。まだまだ若輩者ではありますが、今回の経験を糧に、指導者として合気道が私にしてくれた事、合気道から学んだ事を伝えて行きたいと思っております。

また来年、第六十一回大会も盛大に開催されることを切に願っております。

城東誠和会

代表 竹森 啓祐

昨年に引き続き本年も全日本合気道演武大会が日本武道館で開催されました。本年は昨年と違い、新型コロナウイルスによる影響の一つである演武者数の制限がされませんでした。そのため多数の参加者がみられコロナ禍前の生活が戻ってきたようたいへん嬉しく思いました。

私共の城東誠和会からも十四名が今大会の演武に参加させていただきました。昨年までの人数制限により、これまで参加が叶わず初めて参加する者もあり、非常に嬉しうに、適度な緊張感を覚えながら演武を行いました。参加経験のある者が初参加の者たちを鼓舞し、全員演武終了後はしばらくハイな気分になっておりました。

また今回の演武大会では、これからの合気道を背負う若い世代を対象とした演武の機会をくださり、当会の指導の一翼を担っております。



ります 國分勇佑が演武を披露させていただきました。彼はまだ歳は若いですが、合気道歴は十余年に及び天性の素質



に練磨を重ね立派に成長しており先が楽しみです。演武内容は自由技を披露させていただきました。周りの期待とプレッシャーのしかかる中、堂々とした演武で当人には今後の目標及び課題が見つけれらる貴重な、そして有意義な機会になったと思います。

充実した演武会に参加できたことを嬉しく感じた一日でありました。

当会には今回参加できなかった少年部をはじめ多数の会員が所属しております。出場の機会を得られた者はその経験を持ち帰り稽古に活かしてくれと思います。

今後益々の合気道の発展に当会も寄与できますよう今後も稽古を積み重ねてまいります。

また、以前私が日本武道館で講師をしていた武道学園の生徒たちの演武もよかったです。

最後になりますが、合気会の皆様をはじめ関係各所の皆様のおかげさまで、無事に大会が開催されましたこと、誠に喜ばしく大変感謝致します。

生涯スポーツ功労者表彰を受けて

稲門合気倶楽部

梶浦 真

令和五年五月七日(日)東京体育館において、第七十六回都民体育大会、第二十四回東京都障害者スポーツ大会 合同開会式が開催され、(公財)東京都体育協会表彰が行われ、合気道 生涯スポーツ功労者という大変名誉ある表彰を受けました。甚だ恐縮し身の引き締まる想いです。これも一重にご推薦

いただきました東京都合気道連盟の皆様、道友の皆様のお力添えの賜物と心より感謝



申し上げます。式場には東京都各地より数多くのスポーツ団体が集合しました。メインアリーナに設置された大型スクリーンに「合気道」の文字が浮かび、同時に表彰式はオンライン配信されており、また様々スポーツを愛する方々へ合気道紹介の一助になったのではないかと考えております。

昭和五十一年高校一年生の時に合気道本部道場に入門しました。昭和五十四年に早稲田大学合気道会に入会し、多田宏師範の御指導を受け、現在は合気道月窓寺道場で稽古を続けております。

また早稲田の卒業生で構成する稲門合気倶楽部会員として学生支援活動を行っております。大学では毎年多くの新入生が合気道に入門します。学生支援は合気道の普及にとつて重要なことと考えております。そして東京都合気道連盟の各種行事では本部道場の先生方から御指導を頂き、事務運営サポートを行いながら多くの道友と稽古させて頂いております。

また稽古後も、情報交換会や直会で多くの方々と語り合うことをとても楽しみとしております。

今回の表彰を機に、更に稽古に精進し、微力ながら合気道の普及発展に努めて行く所存でございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

生涯スポーツ優良団体表彰を受けて

合気道順風会

代表 野口 勤

この度、令和五年(公財)東京都体育協会より「生涯スポーツ優良団体」の榮譽ある賞



を頂き、大変光栄に思います。

これもひとえにご推薦頂きました東京都合気道連盟理事長はじめ関係者の皆様のお力添えと深く感謝申し上げます。

合気道順風会は、昭和五十六年、故猿田義重先生により足立区総合スポーツセンターを中心に、合気道の活動を通して生涯学習及びコミュニティづくりに関わり、合気道の発展と普及を目的に設立されました。

そして、平成十年から合気道に尽力された猿田義重先生の遺志を継ぎ、会の維持と発展のため会員一同一丸となり、二十五年間努力してまいりました。当会は、一般の部と少年少女の部に分け、一般の部は高校生から高齢者まで幅広い層の会員が、それぞれの目的に応じた稽古をしております。

最近、特に高齢者の方が健康維持を目的に、毎月一回開催の無料体験会に参加し、入会されるケースが増えました。

少年少女の部は、第一に礼儀の大切さを学び、また「静と動」を取入れた稽古を通して、基礎体力の向上と集中力を養いつつ基本技を中心に稽古を行っております。

また、日頃お世話になっております東京都合気道連盟主催の講習会や演武大会にも積極的に参加することで、合気道の向上とコミュニケーションが図れております。

今回の受賞を励みに会員一同、微力ではありますが、合気道発展のため尽力してまいります。

今後とも宜しくお願い致します。



新規加盟団体紹介

北区合気倶楽部

代表指導者 植木 俊樹

このたびは、東京都合気道連盟への加入を承認して頂きありがとうございます。



令和四年四月一日に発足しました北区合気倶楽部と申します。

現在、植木俊樹七段を代表とし、大人のみですが区営体育館と区立中学校の武道場を借りて、週二回の稽古で老若男女が気持ち良い汗をかいております。本会の方針

として、「楽しく稽古を」をモットーに初心者には丁寧な指導を、有段者はさらなる技法の研究をと、毎回ごとに自分自身の成長を少しでも実感できる稽古を目指しております。

自分一人だけが上手になることはできない。相手も上手になってこそ真の上達がある。そこに相手への尊敬と謙虚な自分を持ち続ける稽古に、無限の可能性を秘めていることを確信して毎回の稽古が始まります。怪我の無い稽古を目指しますので、長めの準備体操とストレッチを行い、稽古後のクールダウンも念入りに行います。

代表からの指導として、基本技の中に奥義ありと捉え、全員での基本稽古に十分な時間を取り、合気道の良さを確認しています。また「剣を徒手で表現」「和合の武道とは」「氣と崩し」「理にかなった技の



展開」など、これからも探求すべき課題を多く持つことが日々の稽古の充実さと合致していると考えております。

多くはない会員数から始まりましたが、護身に興味のある女性や健康増進・持続を目指す高齢者の方、さらなる心身の

の練磨を追及する方々が徐々に集い、活気のある稽古状況になってまいりました。また北区教育委員会から「社会教育関係登録団体」の承認も頂きましたので、本会の設立趣旨の一つでもある「地域への貢献」を基に「合気道初心者講座」や「女性のための護身教室」「少年部の開設」などを企画しております。

今後は、東京都合気道連盟の演武会や広域合同稽古等に積極的に参加して、会の発展を目指していく所存です。新参団体ではありますが、今後とも何とぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

久が原合気道倶楽部

代表 鈴木 義宣

この度は東京都合気道連盟加盟のご承認、ありがとうございます。

久が原合気道倶楽部は二〇二三年一月、「大人から子供まで年代に関係なく、気軽に合気道が始められる道場を作りたい」との思いから、妻と一緒に開設しました。

店舗の一室にマットを敷き詰めて二十畳程度の小さい道場ではありますが、その分、ひとりひとりに丁寧に指導することを心がけております。





道場開設から約一年半、おかげさまで会員は十七名となりました。親子での入会が多く、大人も子どもも一緒に稽古しています。ほとんどが合気道初心者でしたが、少数での稽古ということもあり、ひとりひとりの成長が本当に目に見えて嬉しいのです。

当道場ならではの和気あいあいとした雰囲気もありながら、みな真剣に稽古に励んでくれています。道場では通常の稽古の他に、無料の体験教室も開いております。

また、夏休みには会員に協力してもらい、小学校での体験教室も行っております。

今後はこれらの活動を更に広げ、地域密

着型の道場として、合気道の裾野を広げる一助になるべく活動していきたいと思えます。

私も妻もまだまだ未熟であり、道場運営も指導も手探りな状態です。今後は連盟の講習会等にも積極的に参加し、技はもちろん、指導力の向上にも努めてまいり所存です。

皆様からのご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

合気道仁昌会

代表 川口 剛雄

この度は東京都合気道連盟への加盟を承認していただきありがとうございます。

仁昌会は「初心者」に優しく分かりやすい合気道」を基本理念として二〇二三年秋に港区にて活動を開始しました。

当会会員さんは武道経験がない女性や小・中学生の子供さんが多いので、怪我をしないように年齢や身体能力に合わせた無理のない稽古内容にしています。

「争わない、競わない、人と比べない」という和合の精神を以て、普段の生活ではあまり意識することがない武道の礼儀作法も大切に稽古時間がお互いに気持ちよく楽しい時間となるような指導を心がけています。

初心者の方には技を覚えてもらう前に、まずは姿勢のよい正座や構え方、肩の力を抜くための呼吸法、丹田を意識した体捌きなど

を時間をかけて説明しながら実践し、体得してもらっています。

正中線の感覚を養うために行う木剣を使った素振り稽古の翌日は、皆さん大筋肉痛に苦しみますが、それも最初のうちだけで、稽古を重ねる度に段々慣れてきて様になつていく姿は頼もしい限りです。

港区内の各稽古場で週二・三回稽古を行



いつ、指導師範には東京都合気道連盟理事長でもある藤城清次郎七段をお迎えし、月に数回ご指導いただいております。

毎週水曜日は、ご縁があつて忠臣蔵で有名な赤穂義士が眠る泉岳寺の境内にある一室をお借りして、道場として使用させていただいています。

仁昌会は多くの方に支えられ助けられながら発足した新しい団体です。

世の中がコロナ禍以前に戻るにはまだもう少し時間がかかると思いますが、今までの出会いやご縁を大切にしながら日々感謝の気持ちを忘れず、合気道の輪を広げていくために精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしく申し上げます。



荒川合気会創立六十周年記念

荒川合気会

会長 酒井 光雄

令和五年二月十九日、私たち荒川合気会は創立六十周年を迎え、アートホテル日暮里ラングウッドにて創立記念祝賀会を開催し、成功裡に終えることができました。

当日は道主先生をはじめ全日本合気道連盟理事長の尾崎响先生、東京都合気道連盟理事長の藤城先生、副理事長の大田先生のご臨席を賜り、総勢百九名参加の盛大な祝賀会となりました。ここまで来られたのも皆皆様のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

当会は故・佐藤益弘師範が指導を任されていた大商証券 現みずほ証券 荒川支店内にある社員向け道場を、佐藤師範の提案により支店内の社員のみならず近隣の一般の



人たち向けに道場を開放したのをきっかけとし、一九六三年（昭和三十八年）二月に植芝吉祥丸前道主より「荒川合気会」の名称を頂戴したのがはじまりです。

会発足後、元来社内向けの道場であったため経済環境の変化により道場移転を余儀なくされ、時代の変遷に翻弄された面もあり安定した稽古場が持てなかつた時期があるなど、決して平坦な道のりを歩んだわけではありませんでした。その後、中心メンバーとして活躍していた会員達の一途に稽古に打ち込む姿勢が世間の目にとまり、縁あって警視庁柔道師範でおられた工藤和雄先生のお力添えをいただくことで尾久警察署の道場を借りることができ、そこからようやく会が安定する礎が出来ました。尾久警察署の道場も安保闘争などの時代背景により撤退を余儀なくされましたが、時代は高度成長時代に入り、稽古場所の拠点を区立中学校の空き教室や公共の体育施設に移し、それからは荒川区を中心に北区、台東区に道場を広げ、大きく会員数を増やし盤石な組織に発展を遂げてゆきました。そして現在は九道場、総会員数三百名以上の規模となっています。

六十周年を迎えた今、直近ではコロナ禍などの試練を経ましたが、現会長の酒井光雄師範ご指導の下、全道場が心を一つにして、和合の精神を大切に、青少年の健全育成など地域社会に根差し合気道普及を図りながら今後百周年を見据えて稽古に励んでゆきたいと思えます。（記・事務局長 加藤 聡）

中央区合気道連盟合同稽古について

令和五年四月二日、中央区春季区民体育大会の一環として、中央区総合スポーツセンター武道場にて、都連からのご後援を賜り第五十二回中央区合気道連盟合同稽古を開催しました。

毎年春の行事として行われる合同稽古は、例年多数の友好団体をお招きして開催しておりましたが、ここ数年はコロナ禍のため、当連盟所属の中央区合気会浜町道場、中央区合気会佃道場の会員のみで行われました。講師に鳥海幸一 本部道場指導部師範をお招きして、四十人あまりの参加者にて二時間の合同稽古を行いました。



海師範よりご挨拶をいただきました。

合同稽古では鳥海師範から基本技を中心に、一つ一つ丁寧な技の説明をしていただき、合気道を始めて間もない初心者も上級者も一緒に稽古に励み、十分な稽古と交流が生まれました。

来年こそ、友好団体の会員の皆様と親睦を兼ねた合同稽古の開催を願っています。（記・大橋）

江東区合気道連盟講習会

江東区合気道連盟講習会（江東区合気会主催）が第七十七回江東区民体育大会の一環として令和五年六月四日（土）江東区深川スポーツセンターに於いて開催された。この講習会には都内および近隣の二十を越える団体から百二十名参加者があった。ここ三年間は、コロナの感染拡大により講習会・演武大会等の中止を余儀なくされたが、ようやくコロナも下火になり今回の開催の運びとなった。

開会に先立ち小林正明当連盟会長の挨拶、続いて来賓の東京都合気道連盟藤城清次郎理事長から祝辞があった。

午後一時より（公財）合気会 遠藤征四郎師範の指導による講習会が開催された。講義内容は、個々の技の説明ではなくどのような状況にも対応した合気道の動きを追究する事に重点が置かれている。技にとらわれず相手との出会い、力の方向、力の強弱からどう捌くか、その動きは千差万別であり、百二十名名の受講者の前でその都度説明を加え、また廻りながら指導された。



そして二時間に渡る講習会は午後三時に終了し、その後、直会と懇親会が続いた。

（記・江東区合気会小林）

第39回評議員会資料

資料2

令和4年度収支決算

東京都合気道連盟

自:令和4年4月1日 至:令和5年3月31日

収入		支出	
前年度繰越金	4,118,033	組織加盟費	917,000
連盟会費	2,488,250	通信費	3,257
その他の収益	0	諸会費	7,380
受取利息・雑収入	28	会議費	0
評議員会	0	事務・消耗品費	73,492
理事会	0	慶弔交際費	221,560
総成大会	102,000	広告費	36,000
演武大会	0	事務所管理費	210,000
都体協助成金	200,000	交通費	7,700
地域社会研修会	0	支払手数料	7,336
初心者指導法	100,000	謝礼金等	0
その他	0	評議員会	81,392
少年部指導法	96,000	理事会	303,003
		総成大会	103,623
		演武大会	25,190
		地域社会研修会	8,281
		初心者指導法	80,682
		広報事業	465,478
		少年部指導法	81,372
		都体協助成金返金	0
		合 計	2,633,726
		収支差額	4,470,585
一般運営費収入	6,606,311	一般運営費支出	1,483,705
	7,104,311		7,104,311

貸借対照表

資 産		負債及び資本	
郵便貯金	1,041,272	収支差額	4,470,585
三井住友銀行	1,749,830	周年行事積立金	2,000,000
郵便振替	1,534,445		
現金	50,038		
周年行事積立金	2,000,000		
令和5年度東京武道館	95,000		
14東京武道館使用料	0		
	6,470,585		6,470,585

資料3

監査報告書

東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎 殿

令和4年度事業状況並びに会計（収支決算書・貸借対照表・収入支出明細一覧）を監査しました結果、正確かつ妥当であることを認めます。

令和5年4月3日

監事

梶浦 真 (印)

監事

堀越 祐嗣 (印)

資料5

令和5年度収支予算計画

東京都合気道連盟

収入の部

款	項	目	金額	合計	備 考
会費収入				2,339,000	
	連盟会費		2,535,000	(1,000円×169団体)	
寄附収入				2,200,000	
	講習会	総成大会(6/15)	150,000	参加費 1,500円×100名 150,000	
	演武会	東京都演武大会(11/25)	1,200,000	講習会参加費 1,000円×800名 子供参加費 500円×60名 経費交際費参加費 40,000円×80名	
	講習会	初心者指導法講習会(1/7)	250,000	講習会参加費 2,000円×80名 経費交際費参加費 3,000円×20名	
	講習会	少年部指導法講習会(2/28)	250,000	講習会参加費 2,000円×80名 経費交際費参加費 3,000円×20名	
	評議員会		350,000	経費交際費参加費 3,000円×70名	
補助収入				200,000	
	(14財)東京都体育協会		200,000	演武大会協賛金	
	武道館助成金(助平)として受取		0	所管市会館助成金(令和4年度実績より)	
前年度繰越金			4,470,585	4,470,585	
合 計				9,405,585	

※予算額(収入)はコロナ影響以前の参加人数状況をもとに定めた。

東京都合気道連盟

支出の部

款	項	目	金額	備考
事業費			4,446,000	
	組織加盟費	全日本合気道連盟	747,000	年会費
		東京都体育協会	160,000	分担金・賛助金
		東京武道館武道協賛金	10,000	年会費
	講習会	総成大会	104,000	
	演武会	大会諸費	2,106,000	令和元年度実績より 講師謝礼金
	その他	地域社会研修会	10,000	
	参加事業	初心者指導法講習会	171,000	講師謝礼金 経費交際金 3,000円×30名
		少年部指導法講習会	172,000	講師謝礼金 経費交際金 3,000円×30名
	広報	広報誌印刷・郵送費	486,000	(年2回)
	積立金	周年行事積立金	500,000	
管理費			1,364,000	
	会 議 費	評議員会	432,000	会務費他 情報交換会3,000円×70名
		理 事 会	308,000	
		周年実行委員会	45,000	
事務費				
	通 信 費		4,000	
	諸 会 費		3,000	
	事務・消耗品費		74,000	
	事務所管理費		210,000	
	慶弔・交際費		220,000	
	広 告 費		36,000	暑中・年賀広告
	交 通 費		26,000	会議交通費を含む
	雑費(支払手数料)		8,000	
予 備 費			3,595,585	
	予 備 費		3,595,585	
合 計			9,405,585	9,405,585

※予算額(支出)は令和4年度支出額を元に、百円単位以下を繰り上げて定めた。

令和5年度

東京都合気道演武大会

◆日時 令和5年11月23日(木・祝)

◆場所 東京武道館 大武道場

団体演武

個人演武

高校生演武



4年ぶりに開催決定!

奮ってご参加ください!

※加盟団体の皆さんへは、七月末にご案内の予定です。

東京都合気道連盟主催行事

令和5年度 初心者指導法講習会

◇期日 令和五年七月三十日(日)

◇場所 港区スポーツセンター武道場一

令和5年度 少年部指導法講習会

◇期日 令和六年二月二十五日(日)

◇場所 港区スポーツセンター武道場一

(公財)合気会傘下団体行事

第二十回全国高等学校合気道演武大会

◇期日 令和五年八月二日(水)

◇場所 東京武道館 大武道場

(公財)日本武道館主催行事

令和5年度 東京都地域社会合気道

指導者研修会

◇期日 令和六年三月二日(土)～三日(日)

◇場所 東京武道館 第一武道場

東京武道館主催行事

令和5年度 広域合同稽古

・第三回 九月十四日(木)

講師 小山雄二 本部道場指導部師範

・第四回 十一月二日(木)

講師 桂田英路 本部道場指導部師範

・第五回 令和六年一月二十五日(木)

講師 鈴木俊雄 本部道場指導部師範

・第六回 令和六年三月十四日(木)

講師 櫻井寛幸 本部道場指導部師範

主 要 行 事 予 定

人事 報 告

去る七月三日(月)第229回理事会に於いて
 瀬川一之氏(合気道臥龍会代表)より理事
 の辞任届けが提出され、同日付にて辞任が受
 理されました。



編 集 後 記

空の青がひととき眩しい季節となり、隣家の
 軒下の燕も先日巣立ちました。皆様におかれま
 しては、稽古に励まれ爽やかな汗を流されてい
 ること存じます。

広報誌の担当となり早一年、ご協力いただ
 きました皆様に改めて御礼申し上げます。広
 報誌に掲載する写真のために私、カメラマンデ
 ビューします。センスが無いのは自覚しており
 ますが、先ずは暫く使用していないデジカメの
 充電から始めます(汗)。都連行事でカメラを構
 えましたら、笑顔で写真に応じてくださいます
 よう、この場をお借りしてご協力をお願い申し
 上げます。

広報誌のご感想、ご意見などお待ちしております。
 ます。次回は新年号の発行予定です。よろしく
 お願いします。

(記・美濃部)